2020年7月

環境業務ご担当者の皆様へ

2020年 野村興産株式会社 リサイクル事業　ご報告書

NOMURA KOHSAN

野村興産株式会社
東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番3号
TEL 03－5695－2531
FAX 03－5695－2540
URL https://www.nomurakohsan.co.jp

ごあいさつ

拝啓

時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、弊社は1973年の創業以来、水銀製錬に関する技術を基盤に、使用済み乾電池・蛍光ランプをはじめとした様々な水銀廃棄物の処理・処分及びリサイクルを行ってまいりました。2019年12月には福岡県北九州市の株式会社ジェイ・リライツを関連会社化し、九州・沖縄及び中国・四国地方を重点強化いたしました。

水銀に関する水俣条約が発効し、国内の様々な法律が整備された事により、水銀廃棄物の適正な処理がこれまで以上に法的に厳しく求められております。弊社は水銀を自社で回収・再資源化できる国内唯一の企業として、使用済み乾電池・蛍光ランプのみならず、汚泥や活性炭、触媒、廃水銀等、処理が困難な廃棄物に関しましても適正に処理を行っております。また、再資源化率向上に寄与するため、使用済み乾電池・蛍光ランプはほぼ100％リサイクルしており、リサイクル品につきましては水銀、非鉄・製鉄資源やグラスウール、蛍光ランプ用ガラス、セメントの各原料及びガラス工芸品等、様々な用途で使用していただいております。今後とも法令遵守の基、適正処理と再資源化率向上に貢献してまいります。

この機会に、環境業務ご担当者様に廃棄物の処理・処分及びリサイクルに対する取り組みの現況をご報告いたしますと共に、今後もこれまで以上のご厚情を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

●ゴールドプラス
この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com

弊社受入実績

昨年度の弊社受入重量及び受託自治体数が近年最高となりました。受入増の背景には「家庭から排出される水銀使用廃製品の分別回収ガイドライン」や「水銀廃棄物ガイドライン」の発行、水俣条約の発効を基に行われた「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」の制定、「廃棄物処理法施行令等」や「大気汚染防止法」の改正に伴い、排出者様の適正処理への意識が高まっていることが要因かと思われます。弊社はこれからも適正処理を進めてまいります。

▼弊社受入実績

品目	2017年度		2018年度		2019年度	
	処理量	受託自治体数※1	処理量	受託自治体数	処理量	受託自治体数
蛍光ランプ	約 8,000 t	857	約 9,000 t	940	約 9,080 t	984
乾電池	約14,000 t	903	約15,600 t	971	約15,520 t	954
その他	約 4,500 t		約 5,400 t		約 6,200 t	
合計	約26,500 t		約30,000 t		約30,800 t	

※1　全国自治体数1,741市区（特別区）町村（2020年5月1日現在）

株式会社ジェイ・リライツの株式譲受

2019年12月17日に弊社は、株式会社ジェイ・リライツの全発行済株式を譲受し、弊社の関係会社といたしました。

同社は、2001年10月から使用済み蛍光管、2006年10月から使用済み乾電池の処理・リサイクルを開始、九州・沖縄及び中国・四国地方を中心に回収された水銀使用製品廃棄物の処理・リサイクルに取り組んでまいりました。また、環境への取り組みとしてエコアクション21を取得し、2016年には10年継続事業者表彰を受賞。優良産廃処理業者認定を受けており、電子マニフェストへの対応もしております。

弊社グループとなり、同社で発生する中間処理後の水銀含有残渣は弊社イトムカ鉱業所で適正に処理・処分及びリサイクルすると共に、積替保管施設を設置し、様々な水銀使用製品産業廃棄物を九州から弊社イトムカ鉱業所へ運搬するための拠点としての活用も進めております。イトムカ鉱業所（北海道）、関西工場（大阪府）と共に全国3工場体制で、引き続き水銀廃棄物の適正処理に取り組んでまいります。

■商　号：株式会社ジェイ・リライツ
■所在地：福岡県北九州市若松区響町一丁目62番地の17
■ＴＥＬ：093-752-2386　ＦＡＸ：093-752-2387
■設　立：2000年5月1日
■資本金：1億円
■ＵＲＬ：https://www. j-relights.co.jp

海外への取り組み

有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約に従い、現地に水銀廃棄物の適正な処理施設がないインドネシア、タイ、台湾、フィリピン、マカオ等より水銀廃棄物を輸入し、処理を行っております。引き続き、世界的な水銀廃棄物の適正処理に貢献していきます。

▼海外排出水銀廃棄物処理実績

輸出国※2	2017年度処理量	2018年度処理量	2019年度処理量	廃棄物品目
インドネシア	約65 t	約324 t	約 69 t	水銀含有石油スラッジ、触媒等
タイ			約831 t	水銀含有石油スラッジ、触媒等
台湾			約 97 t	ボタン電池・HIDランプ
フィリピン	約15 t	約 28 t		蛍光ランプ・HIDランプ
マカオ		約 15 t		乾電池

※2　フィリピンからは2002年度、台湾からは2006年度に輸入を開始しました。

使用済み乾電池の取り扱いについて（リチウム電池及びリチウムイオンバッテリー）

リチウム電池及びリチウムイオン電池等の充電式バッテリーに過度な力が加わりショート・発火したことが原因とみられる火災事故を近年耳にします。また充電式バッテリーを内蔵する製品も廃棄時にバッテリーの存在を確認できず、分別されないまま中間処理事業者等の施設に投入され激しく発熱・発火する原因となっております。

弊社では多様な電池類の処理実績があり、リチウム電池及び充電式バッテリーについても処理可能です。ただし、発火事故等を起こさないよう、排出者様で保管や排出、梱包の際安全に留意する必要があります。

充電式バッテリーを内蔵する製品については、下記の様なものが挙げられます。処理については弊社へ是非ご相談ください。

▼充電式バッテリーを内蔵する製品に関する弊社取り扱い品目と排出時状態（参考）

品目 ＼ 排出状態※3	モバイルバッテリー※4	加熱式たばこ	ハンディクリーナー	電気シェーバー	スマートフォン	電動歯ブラシ
原状渡しで良いもの	●	●				
充電式バッテリーを取り出した上、絶縁処理が必要なもの			●	●	●	●

※3　上記排出状態は物の状況や量等により変更される場合がありますので、あくまでも参考としてお考えください。
※4　アイコン【出典元:（公財）日本容器包装リサイクル協会】

NaS電池処理は弊社へお任せ下さい。

NaS電池（ナトリウム・硫黄電池）とは、大容量、高エネルギー密度、長寿命を特徴とする二次電池の一種です。硫黄を正極に、ナトリウムを負極に使用しており、両極間を隔てる電解質にファインセラミックスを利用した二次電池で、電力負荷平準化によるピークカット、非常用電源や瞬停対策、再生可能エネルギーの安定供給源として、ライフラインを支える重要な役割を果たしています。設置されている代表的な施設は風力・太陽光発電所、火力発電所、浄水施設等で製品ライフサイクルは約12～15年とされています。

弊社では、NaS電池を長年処理しております。2019年6月にはNaS電池処理の新設備が稼働し始め、受入量が倍増致しましたが、それでも受入能力に余裕があります。廃棄をご検討されている方は是非ご相談ください。

▼NaS電池処理施設

使用済み乾電池実態調査

弊社では自治体より処理委託を受けた使用済み乾電池の実態調査を行い、使用済み乾電池中の水銀含有平均値を試算しております。

▼使用済み乾電池実態調査結果

年度	調査数	水銀含有平均値（ppm）	水銀ゼロ使用乾電池平均比率（wt%）※5	乾電池（アルカリ・マンガン）	Ni系	Li系	ボタン電池	その他乾電池
2017	23	21.6	98.5	88.29	1.36	0.82	0.35	9.19
2018	19	15.8	97.9	87.70	1.85	0.54	0.32	9.58
2019	20	22.0	97.7	85.48	1.93	0.95	0.37	11.26

※5　調査を行った乾電池（アルカリ・マンガン）を100wt%とした際の水銀ゼロ使用乾電池の平均比率です。

各年度での調査の結果、**使用済み乾電池中よりボタン電池や、水銀ゼロ使用前に国内にて製造された水銀入りの乾電池、水銀を含有する海外製の乾電池の排出が確認されております。2019年度の水銀含有平均値22.0ppmを基に試算される水銀回収量は約341kg※6にもおよびます。**

「家庭から排出される水銀使用廃製品の分別回収ガイドライン」にも、水銀が使用されていた国内製乾電池や水銀が使用されている可能性のある海外製乾電池のみを区分して回収することは現実的に難しく、「乾電池」という区分でまとめて分別回収することが望ましい旨が記載されております。一般家庭より集められた乾電池にはさまざまな時代・種類のものが混在し、一概に水銀ゼロ使用とは言えません。弊社には乾電池やボタン電池から水銀を回収しリサイクルする技術があり、安心してご排出していただけます。

※6　2019年度処理量約15,520t×2019年度水銀含有平均値22.0ppm

漏洩注意！ 安全梱包について

弊社が取り扱う廃棄物には有害物を含むものが多く、適正処理に向けて、安全に処理施設へ運ぶ為に適正な梱包が必要になります。含水率の高いものには吸水・防水シートを使用したり、割れやすい素材には緩衝材を詰めたり、割れても漏洩の無い様、内袋を敷いておく等、廃棄物の性状に合わせた梱包が必要です。安全輸送に向けた適切な梱包にご協力ください。

▲ 輸送時に振動等で擦れて、フレコンが破れてしまい乾電池等が散乱してしまった様子。※7

▲ 輸送時に荷崩れが起きて蛍光灯コンテナが崩壊した様子。

※7　散乱してしまった乾電池等は適正に処置した為、環境への影響はございません。